

世田谷区 理科部の研究

1 研究主題

「科学的に問題解決しようとする子どもを育成する理科学習」
～子どもの考えを引き出し、活かす～

2 研究主題 設定の理由

世小研理科部では、昨年度より「科学的に問題解決しようとする子どもを育成する理科学習」を研究主題とし、研究に取り組んでいる。また、以下の3点を重点として掲げた。

- (1) 各単元の「理科の見方・考え方」の把握
- (2) 問題解決の力を意識した授業展開
- (3) チェック項目の設定

どの研究授業においても、主体的に問題を解決しようとする子どもの姿が見られた。一方で、児童に与える課題や事象提示の方法が、児童の実態に合っていないのではないか、仮説を設定する学習場面で、根拠をもちにくい児童への具体的な支援をどのように充実させていけばよいか、などの課題が残った。

本年度は、新学習指導要領の施行1年目である。児童がもともと理科の見方・考え方をもっているという考えに立ち、その考えを生かし、引き出していくことが求められている。これは、副主題に掲げた、私たちが目指していく授業の形と同じなのではないかと考えた。これを踏まえて、研究主題・副主題は昨年度と同様にし、具体的な手立て（重点項目）を以下のように設定した。

- (1) 理科の見方・考え方を子どもたちが働かせて、資質・能力を育成していくための指導の工夫
- (2) 批判的思考をしながら問題解決するための、チェック項目の設定、活用

3 研究内容

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各理科部員がこの重点項目を意識しながら日常の授業を行い、その実践を共有する実践報告会の形式をとることにした。ただし、世小研理科部研究員については、感染症拡大防止の措置を取ったうえで研究授業を行い、その後協議会の場を設けることにした。

4 研究経過

日時	形式	会場	内容
9月9日	理科部総会 基調講演	桜小	講師：白敷 哲久先生（昭和女子大学 准教授）
10月7日	実践報告会	烏山小	・動画教材作成のポイント ・4年「雨水の行方と地面の様子」における実践紹介（喜多見小） ・6年「電気の利用」におけるプログラミング授業実践（烏山小） 講師：千葉 秀一先生（開智国際大学 専任講師）
11月4日	実践報告会	赤堤小	・科学実験室（科学センター内）と連携した授業実践（太子堂小） ・3年「音の性質」における実践紹介（城山小） ・臨時休業中におけるプリント学習の実践報告（駒沢小） 講師：林 四郎先生（元 お茶の水女子大学 サイエンス&エディ ケーションセンター 客員教授）
1月20日	授業研究	未定	世田谷区小学校教育研究会 理科部研究員の報告 講師：千葉 秀一先生（開智国際大学 専任講師）
2月10日	実践報告会	未定	・チェック項目の活用について（二子玉川小） ・学大世田谷小の実践について（学大世田谷小） 講師：未定